

質問要旨

町会灯の助成に関する調査について、現時点でのアンケートの回収状況、調査の状況は？

答弁要旨

町会灯の灯具の種類と基数、また支払っている電気料金等を把握するために、市内にあるすべての単位福祉協会 594 団体をお願いしておりましたアンケートにつきましては、現時点で408団体、回答率で言うと69%で町会灯の総数としては約1900基分についての回答がありました。

現在、アンケートでいただいた内容のチェックとアンケートに回答いただけなかった31%分の団体も含めた全体の基数や設置状況を判断するために、回答のあったものから1000基を選別し、確認作業を実施中であり、9月末には完了する予定であります。

(次のページに続く)

現時点で分かった傾向といたしましては、町会灯のうちLED灯となっているのが約40%程度であり、LED化が進んでいないことや、幅員が狭い私道には、灯具を設置するスペースがなく、不安定な木の柱や家の軒先に設置されているものが約30%程度あることなどが分かりました。

以 上

質問要旨

町会灯の助成制度の検討状況は？

答弁要旨

今回のアンケートや現地調査により、町会灯の維持管理の現状を把握していく中で、町会での継続的な維持管理に課題があることや、町会灯がなくなることによって市民生活に影響がでることが分かってきました。

こうしたことから、現在、先進事例を参考に、助成対象や助成内容について研究し、本市において実施可能な助成方法を検討しているところですが、町会灯の最終的な総数が約2,800基にもなると予想されることから、予算的に一度にすべてを助成... するのではなく、まずは、私道であっても普段から不特定多数の方が通行されているものや、小中学校の通学路となっているような、公益性が高く、公道を補完するような私道に設置されているものに対して優先的に助成を始めていくなどの方法も含めて検討を進めております。

(次のページへ続く)

さらに、町会灯のLED化を進めるために、LED化に伴う助成制度についても合わせて検討をしているところ
であります。

以 上

質問要旨 地域の消防団の器具庫の現状について、どのように考えているのか。改善が必要であるとの認識はあるのか。

答弁要旨

市内に58カ所ございます消防団の分団器具庫につきましては、地域における防火・防災の要である消防団の活動拠点として重要な施設でございます。

これら分団器具庫につきましては、これまでも順次、建替え等を実施しておりますが、施設の老朽化に加え議員ご指摘のとおり、待機室やトイレなどの設備がないところもあり、改善が必要であることは認識いたしております。

しかしながら、建ぺい率や土地所有区分などの問題により、現地での建替えが困難な場合も多く、受持ち区域内に建設可能な用地が確保できるなど条件が整ったものから改善に向けて着手してまいりたいと考えております。

以上

質問要旨 園田分署跡地の一部を消防団の器具庫として活用できないか。

答弁要旨

老朽化している分団器具庫につきましては、優先順位を付け、活用できる土地の状況も踏まえながら、対応を順次進めているところでございます。

一方で、公共施設マネジメントに係る取組につきましては、施設の建替えに伴い相応の建設費等の経費が必要になりますことから、取組に伴い生じる土地については売却し、基金に積み立て、建設に伴い発行した市債の償還財源の一部など^{に充当するための}必要な財源を確保していくことを基本としております。

そのため、園田分署の建替えに伴い生じる土地につきましても売却を基本としているところでございますが、ご指摘の園田地域の分団器具庫の建替えにつきましては、全体の優先順位や周辺の土地の状況も踏まえ、検討を進めていきたいと考えております。

以上

辻議員 1005 作成部局 都市整備局 No.1

質問要旨 新藻川橋は、災害時に避難経路としても活用できない現状を、どう考えているのか。

答弁要旨

園田西武庫線は本市北部において、大阪府と接続する東西幹線道路であり、藻川工区を整備することにより当該地域の交通渋滞の緩和、また緊急物資等の円滑な輸送や都市防災機能の向上を図るものであります。

現時点では工事中であり、災害時であっても、一時的な避難経路として利用することが出来ないため、本市としましては、1日でも早い供用開始を目指して兵庫県とともに事業に取り組んでいるところであります。

以上

質問要旨 必要な安全対策のための工事を前倒しで行うことが、どの程度の工期の遅れや工事費の増額につながるのか。

答弁要旨

現在、東園田側で実施している工事については、工事ヤードに限りがあることから、すでに完成している橋梁についても施工のための重機や資材置場として使用する計画としており、歩行者や自転車の通行を想定しているものではありません。

こうしたことから、仮に歩行者や自転車を通行させることとするには、新たな工事ヤードの確保等が必要となり全体工程に遅れが生じることや、通行ルートを確保するための交通誘導員の増員や、保安施設の設置等に係る追加費用も必要となります。

以上

辻議員 1007 作成部局 都市整備局 No.1

質問要旨 災害時の避難経路を確保するため、一刻も早く新藻川橋を自転車・歩行者が通行できるよう取り組むべきであるが、どう考えているのか。

答弁要旨

先ほども申し上げたとおり、新藻川橋は地域間の交通や本市の道路ネットワーク上も重要な道路であることから、本市としましては、1日でも早い供用開始を目指してまいります。

以上

(梅山教育次長答弁)

辻 議員 2001

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 中学校給食の献立の検討状況はどうか。

答弁要旨

中学校給食は、学校給食法等関係法令に基づき、成長期にふさわしい栄養のバランスを考慮するとともに、旬の食材、地域食材など多様な食材を使用することにより、おいしい給食を目指すこととしております。

中学校給食の献立の検討状況につきましては、栄養教諭及び管理栄養士が、学校給食摂取基準、献立の組合せ、旬の食材、学校給食センターでの調理方法、価格、生徒の嗜好などに配慮しつつ、小学校給食の献立内容なども参考に、令和4年1月から3月までの献立案を作成するとともに、今年7月には、学校長、保護者、給食主任で構成する尼崎市立学校給食センター献立検討協議会において、献立案に対するご意見を伺ったところでございます。

今後、献立で使用する物資の確認等必要な準備を行い、献立案を確定することとしております。

以 上

(梅山教育次長答弁)

辻 議員 2002

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 第1回目の記念給食で、尼崎市産米を活用してもらいたいが、どうか。

答弁要旨

市内産米を使用した給食につきましては、限られた給食費の中での調達や安定した供給などの課題があることから、これまでも小学校給食において、市政100周年の記念行事1回のみ使用となっておりました。

その後、関係者と協議を重ね、昨年度、小学校給食に市内産米を1回使用することができたものでございます。

市内産米を使用するにあたっては、各農家が小規模のため、学校給食で必要とする一定量を安定して調達するには、関係者の理解と協力が不可欠であります。

現在、中学校給食における市内産米の使用について、使用可能な量や価格など関係者と協議中であり、令和4年1月の給食開始に向けて、引き続き調整を進めてまいりたいと考えております。

以 上

辻 議員 2003

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 どういった代替食を用意するのか。

答弁要旨

代替食は、学校給食センターの機器の故障や配送車両の故障などの突発的な事象が発生したことにより、給食提供が行えない場合に緊急避難的に使用することを想定しております。

また、不測の事態により、急遽、食べることとなるため、代替食には、調理の必要がなくそのまま食べられることや、食物アレルギーに対応したものであることなどの条件を満たす必要があると考えており、現在、調達の準備を進めているところでございます。

以 上

(梅山教育次長答弁)

辻 議員 2004

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 消費期限間近の代替食は、どのように活用する
のか。

答弁要旨

他市においては、消費期限間近の学校給食用代替食の活用事例として、9月1日の防災の日や1月17日の阪神・淡路大震災の日、3月11日の東日本大震災の日に、代替食を取り入れた献立を提供するなど、生徒の防災意識向上に役立てる取組が多く行われております。

本市におきましても、こういった活用事例や、学校現場などの意見も参考に、今後、消費期限間近の代替食の活用方法について検討してまいります。

以 上

辻 議員 2005 作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 給食センターから各中学校に配送するトラックの荷台を、移動広告のスペースとして活用してはどうか。

答弁要旨

文教委員の視察(8月4日)において、現場事務所に置かれていた配送車両は、各中学校への搬送計画をより具体化するために試走用車両として1台用意したものであり、荷台は真っ白な状態でありましたが、今後、残りの車両も含め、側面及び背面に遠くからでも容易に確認できる大きさで、施設名称(尼崎市立学校給食センター)の文字を加えることとしております。

なお、施設名称を記載した残りのスペースでの広告としての活用につきましては、追加費用の問題や他都市の活用事例などを踏まえその活用の可能性を研究することとし、まずは令和4年1月の中学校給食の開始に向けて着実に準備を進めていきたいと考えております。

以上

質問要旨 今回の取組について、市は農業と福祉それぞれの側面からどのような関わりをしているのか。

答弁要旨

JR尼崎駅構内での市内産野菜の販売につきましては、農業の側面では、地産地消による都市農業の活性化を推進するため、販売の様子を取材し、農政課のブログで市内産野菜「あまやさい」の積極的な広報に努めたところでございます。

また、福祉の側面では、障害者の活躍の場を拡大するため、今後は生産や加工にも取り組んでいきたいというご意向がJR西日本の特例子会社からございましたことから、現在、貸借できる可能性がある農地を調査しているところでございます。

以 上

質問要旨 これまでの取組の結果について、何か把握しているか。

答弁要旨

これまでの取組み結果につきましては、3月15日と16日、及び7月29日から8月27日のいずれの販売期間におきましても、用意した農産物は、ほぼ完売するなど、たいへん好評でございましたことから、鉄道駅での地元産野菜の直売に対するニーズは、十分に高いものであったと考えております。

以上

質問要旨 市は今後、どのように継続した取組みを行うのか。

答弁要旨

地産地消の実現や農福連携等につきましては、より一層の推進が求められているものと考えております。

そのため、今後とも、市報や市のホームページ等で積極的に広報を行いますとともに、農地の貸借のマッチングにつきましてもＪＡ兵庫六甲と連携する中で、取り組んでまいります。

以上

質問要旨 フードロス対策として実施していること。新たに検討していることは。

答弁要旨

これまでの取組としましては、まずフードロス(食品ロス)について知っていただくため、市報、チラシや講座の実施を通じて、外食時の食べきり運動や、日常生活における取組の周知・啓発を行って参りました。

次に、家庭で食べきれない食品を持ち寄り、必要としている団体に寄付するフードドライブについて、市のイベントでの実施のほか、あまがさき環境オープンカレッジや市内スーパーにおける取組をホームページで紹介するなど、事業者等とも連携した取組を行っているところです。

さらに、今年度は家庭での食べ残しや、手つかずの廃棄食品を記録する「食品ロスダイアリー」の市民モニター調査を実施し、フードロスの実態への気付きとともに、削減に向けた行動への転換を図っているところです。

今後につきましては、これらの取組で得た情報をさらに広く周知・啓発するとともに、飲食店をはじめとする事業者との連携を図り、生産・流通過程のフードロス削減を進めてまいります。

(以上)